

北広島町のこれからのまちづくり -都市計画マスタープラン-

令和7年度 まちづくり懇談会



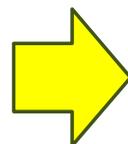
- (1) 都市計画マスタープランの概要
- (2) 北広島町の状況
- (3) 住民アンケート調査の結果
- (4) 計画の基本理念
- (5) 地域のまちづくりの方針



(1) 都市計画マスタープランの概要

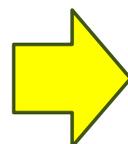
【都市計画】の3つの役割

まちの将来像を示す



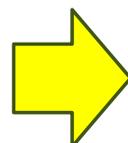
都市計画マスタープラン
など

計画的な土地利用への
規制と誘導



基づく
用途地域の設定など

快適な都市生活・都市
活動のための基盤整備



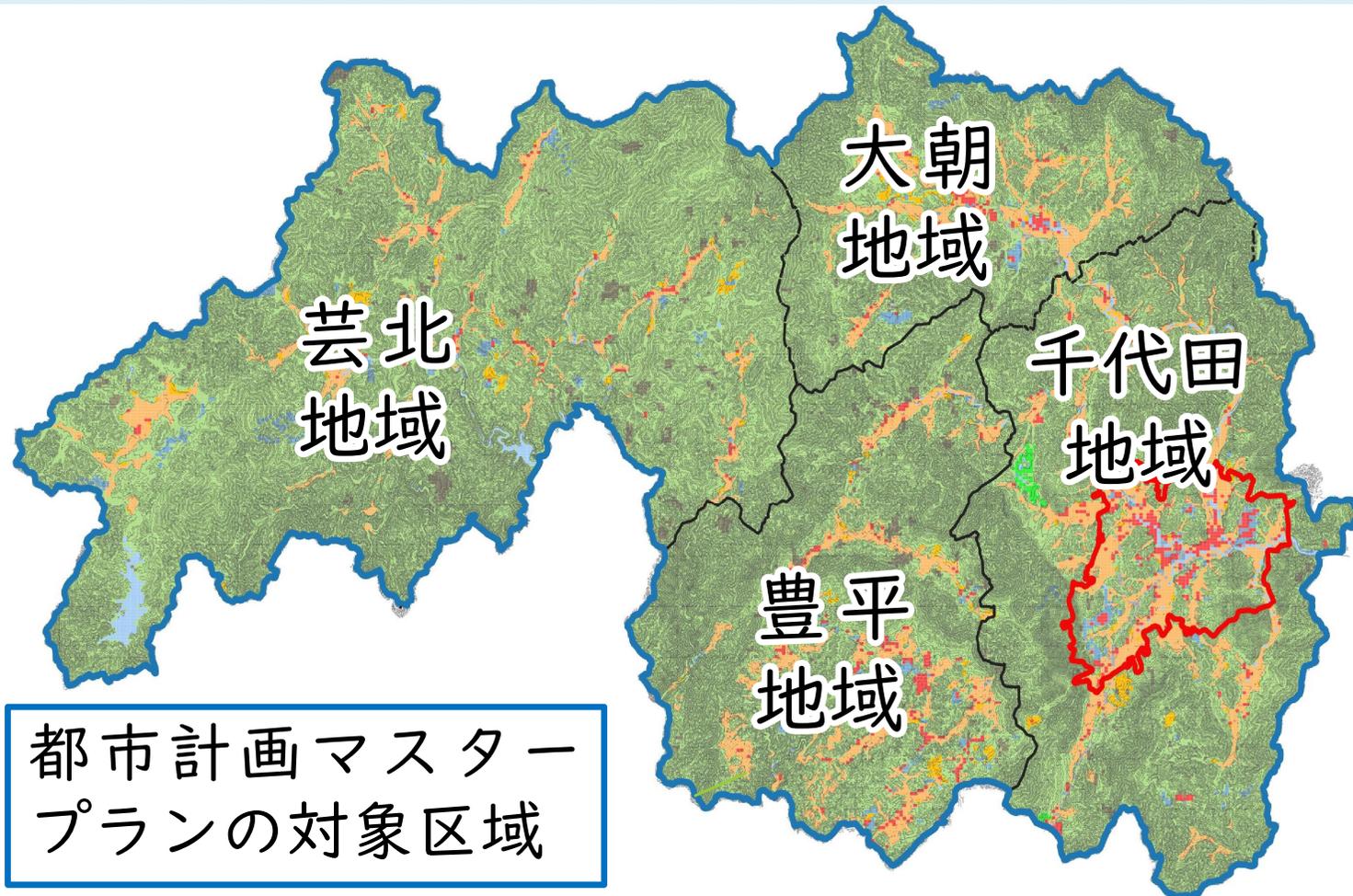
基づく
道路や下水道の
整備事業など



(1) 都市計画マスタープランの概要

計画の対象区域

- 都市計画マスタープランは本来都市計画区域を対象とする計画ですが、地域ごとの特色・強みを活かしつつ、町全体の一体的なまちづくりを進めるため、**北広島町全域**を対象とします。



(1) 都市計画マスタープランの概要

都市計画マスタープランの構成

都市計画マスタープランは、全町的な視点でのまちづくりの方針を定める“全体構想”と地域の特色を生かしたまちづくりの方針を定める“地域別構想”で構成します。

全体構想

—全町的な視点でのまちづくりの方針—
基本理念、基本目標、将来の都市構造、分野別の方針 など

地域別構想

—地域の特色を生かしたまちづくりの方針—
各地域の将来像、各地域で実施する施策の方向性 など

(2) 北広島町の現状

(1) 人口

- 人口は今後も減少傾向で、令和32年には6千人減(令和2年比)と見込まれます。
- 高齢化率は上昇傾向にあり、令和32年には45.8%となる見込みです。

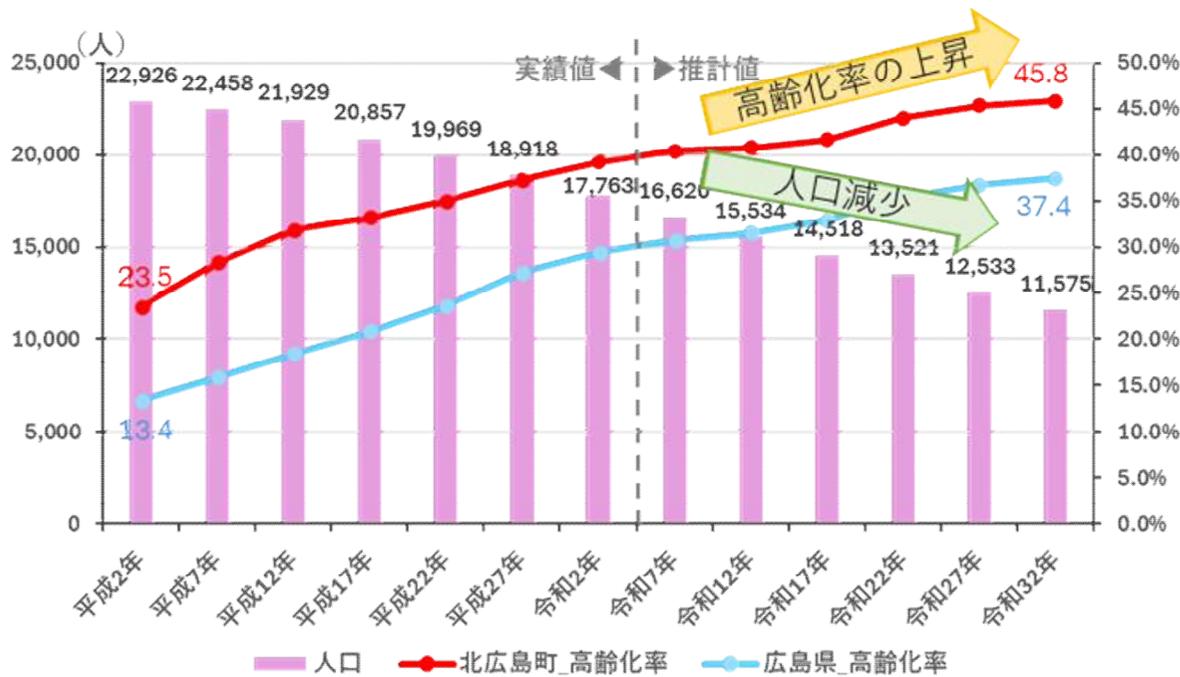


図 人口と高齢化率の推移

出典: 国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

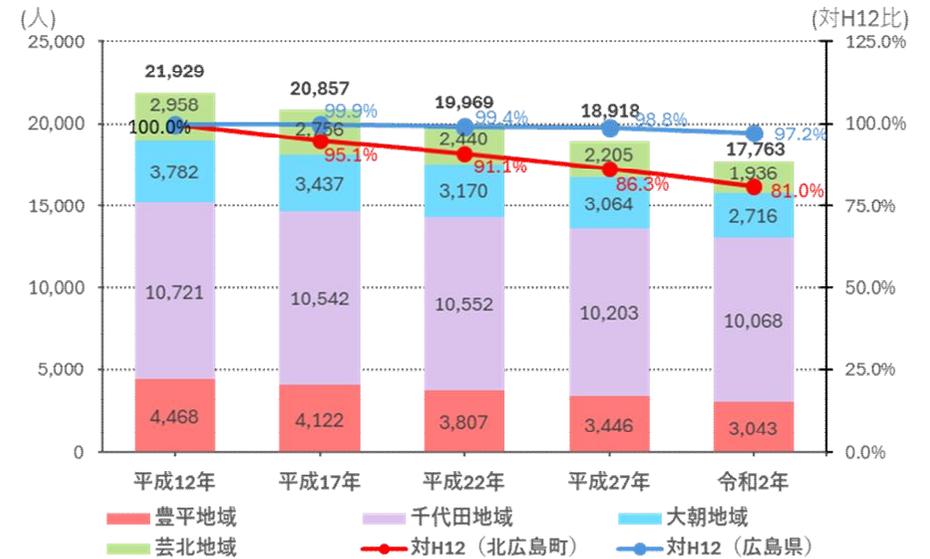


図 地域別の北広島町の人口の推移と伸び率

出典: 国勢調査

(2) 北広島町の現状

(2) 産業構造

- 産業別総生産額割合は第2次産業が6割以上を占めています。また、第1次産業の広島県の産業別総生産額に占める本町の割合は高くなっており、本町は県内でも第1次産業、第2次産業が盛んな地域です。



図 産業別の総生産額割合の推移

表 産業別県内総生産額に占める北広島町の割合

(百万円)

	総生産額	第1次産業	第2次産業	第3次産業
北広島町	117,553	4,055	76,307	37,898
広島県	12,128,058	67,443	3,999,224	8,054,502
対県比	0.97%	6.01%	1.91%	0.47%

出典：令和3年度広島県市町民経済計算結果

※総生産額は輸入品に課される税・関税(控除)総資産形成に係る消費税を含むため、第1次・2次・3次産業の合計は総生産額と一致しない場合があります。

(3) 住民アンケート調査の結果

(1) 調査目的

- 町民の生活実態や生活環境等に対する満足度、今後の期待・意向等を把握するために実施しました。

(2) 調査概要

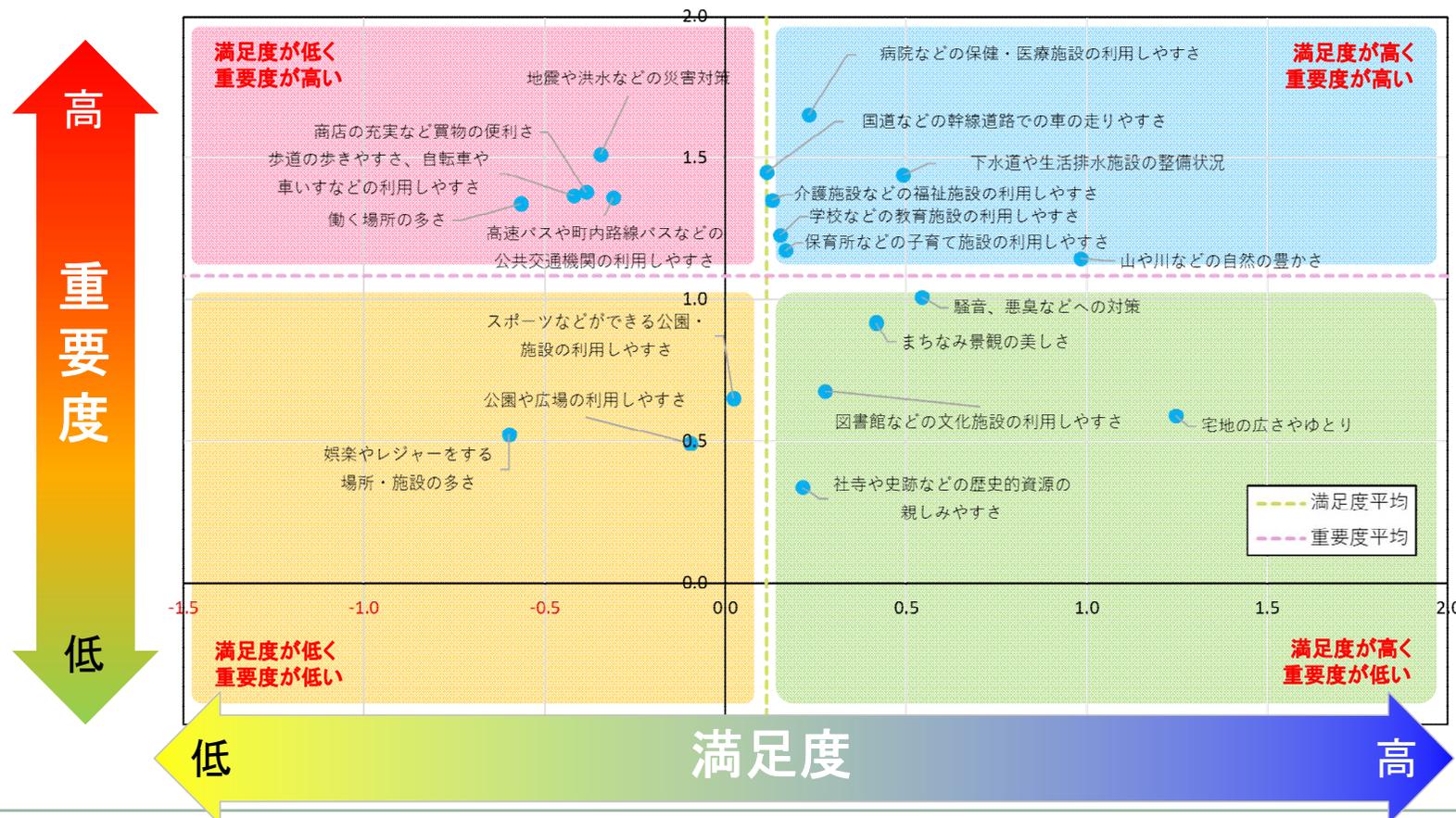
	18歳以上アンケート	中高生アンケート
アンケート期間	2025年1月8日～2025年1月31日	2025年5月21日～2025年6月6日
対象	18歳以上（町全域）	中学3年生・高校3年生
配布数	2,000部	375部
回収数	897部 （郵送：724部、WEB回収：173部）【回収率44.9%】	297部 （WEB回収）【回収率79.2%】

ご協力いただき
ありがとうございました

(3) 住民アンケート調査の結果

生活環境の満足度と重要度

- 「働く場所の多さ」「商店の充実などの買い物の便利さ」の満足度が低く、重要度が高い。
- 「下水道や生活排水の整備状況」「国道などの幹線道路での車の走りやすさ」は満足度、重要度ともに高い。



(3) 住民アンケート調査の結果

まちの将来像

- 北広島町の望ましい姿として「日常生活に必要な施設が身近にある暮らしやすいまち」が最多
- 次いで「保健・医療・福祉の充実」「防災面に対して安心感」も求められている。

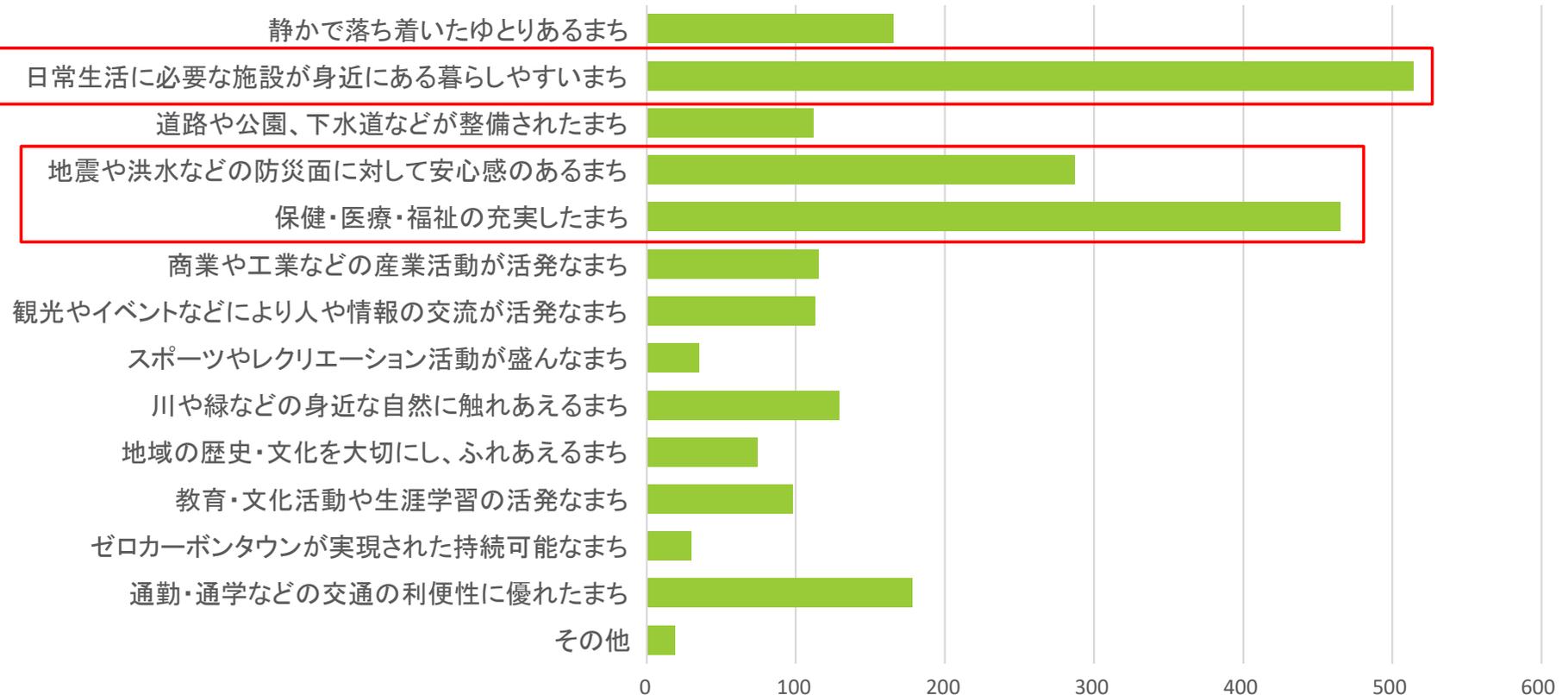


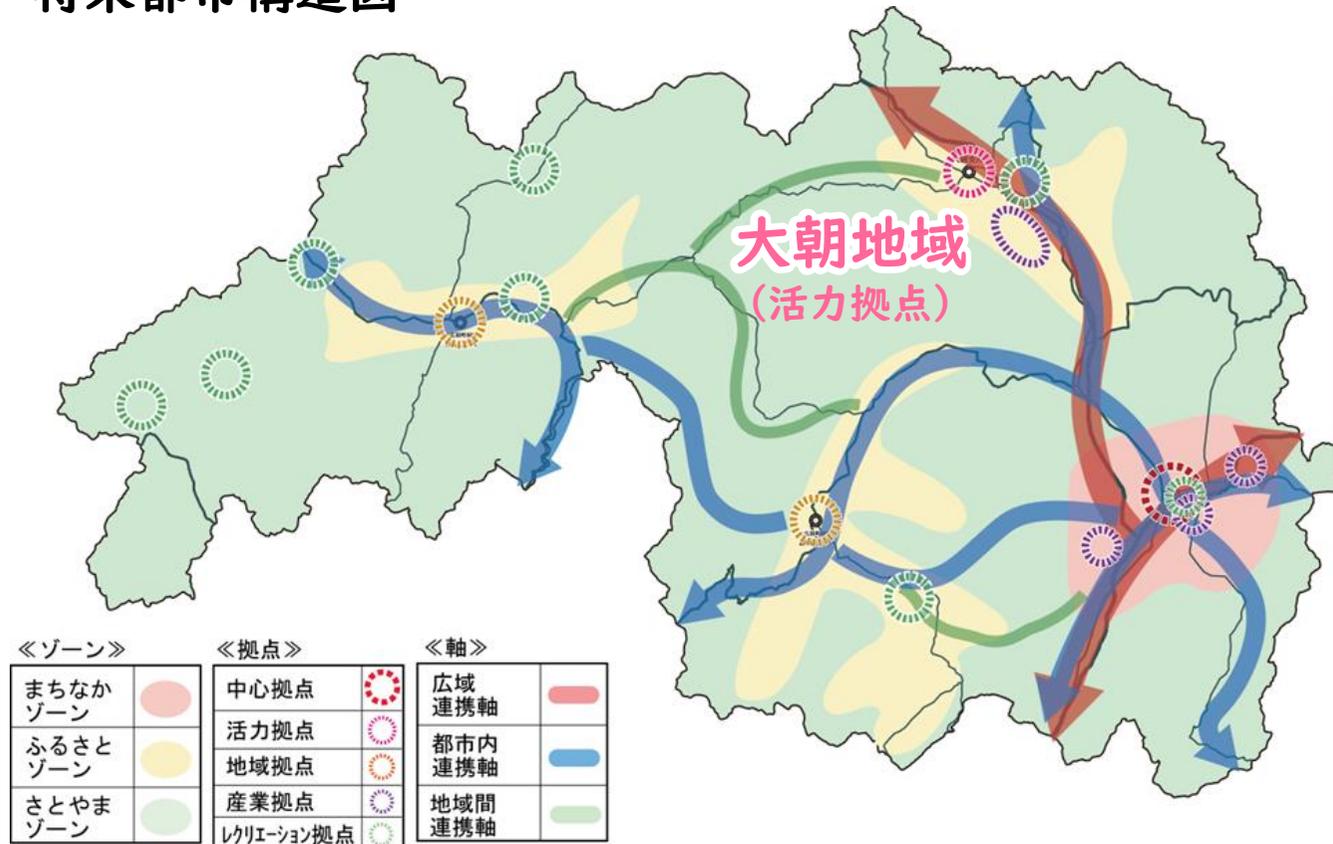
図 北広島町の望ましい姿

4) 計画の基本理念

まちづくりの基本理念

利便性の高いまちなかと地域が繋がり、
住み慣れた地域でゆったりと暮らせるまち

将来都市構造図



活力拠点

既存の生活サービス機能の集積を活かし、大朝地域周辺住民の生活環境を支えるとともに、町外からの移住者や交流人口の拡大を促し、本町全体の活力創造を担う拠点を形成します。

5) 地域のまちづくりの方針

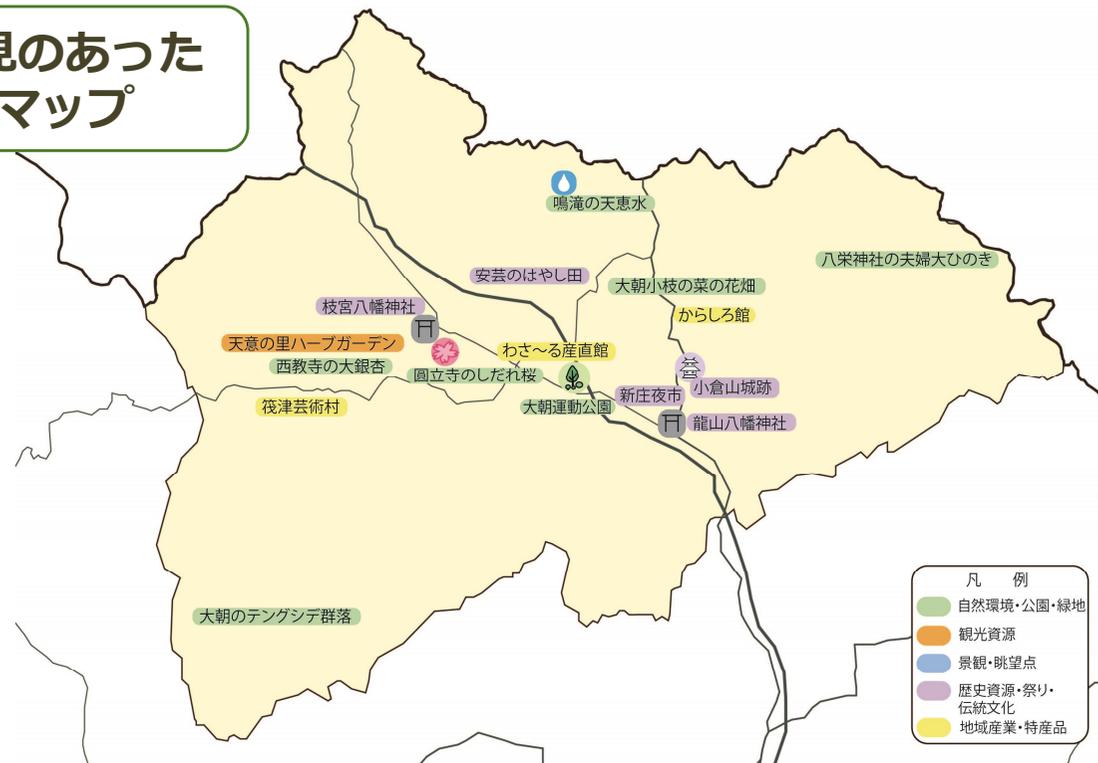
大朝地域のまちづくりの目標

～源流の恵みが未来を育み、地域が和になり暮らし続けられるまち～

源流域としての豊かな自然環境を大切に守りながら、その恵みを活かした持続可能な地域をつくります。

大朝の伝統的な「和(わさ)」の精神を基盤に、地域内外の様々な人が大朝の魅力に触れ、「輪」が広がることで、さらに魅力と活力あふれる大朝のまちを育てます。

住民説明会等で意見のあった 大朝地域の資源マップ



5) 地域のまちづくりの方針

方針1: 土地利用

取組 内容

- ・住まい・働き場・お店が適切に配置され、便利で暮らしやすいまちの形成
- ・緑豊かな山地と農地の保全

主なまちづくりの方針

- ・ 発達した交通網や充実した図書館等の文化施設、豊かな自然等の優位性を活かし、より快適で魅力的な住環境の創出を図り、定住促進を目指します。
- ・ 今後新たに開発される住宅地や建て替え等の住宅については、既存の集落周辺への居住を促すとともに、空家等対策計画に基づく既存ストックの有効活用を検討します。
- ・ 地域の拠点となる北広島町役場大朝支所周辺については、既存の生活サービス機能の維持を図ります。
- ・ 工業・流通機能と企業立地環境の向上を図り、地域経済の活性化と効果的な企業誘致、雇用促進と定住促進につなげます。



第1回 地域説明会 での主な意見

- ・子育て世代が空き家を使用しやすい整備、空き家を活用した移住体験
- ・飲食店やスーパーなどの商業施設がほしい
- ・工業団地に企業誘致
- ・農地法撤廃による宅地化の拡大(引き続き、農政部局と協議します)

5) 地域のまちづくりの方針

方針2: 施設設備

取組 内容

- ・交通ネットワークの強化
- ・都市施設の効率的な整備

主なまちづくりの方針

- ・ **効率的な道路網の整備**により、生活利便性の向上や、大朝工業団地を中心とした工業、農業など、産業の活性化につながる**交通ネットワークの構築**を図ります。
- ・ 教育文化施設は関連計画と連携し、**適切な維持管理・更新**を行うとともに、**廃校となった学校跡地の有効活用**を検討します。
- ・ 地域と連携して取り組んでいるかわまちづくりと連携した**親水空間の整備**を進めるとともに、回遊性向上に向けて**駐車場の配置や規模等**について検討します。



第1回 地域説明会 での主な意見

- ・芸北大朝線の「わさまち通り」周辺に駐車場を整備や、そこからわさーるなどの商業施設に「歩きたくなる街並み」にしてほしい
- ・新庄小学校の跡地活用
- ・大型トラックが通る車道の整備、芸北大朝線が狭く歩きにくいいためインフラの整備してほしい

5) 地域のまちづくりの方針

方針3: 環境保全・整備

取組 内容

- ・本町の貴重な財産としての自然環境の保全と活用
- ・環境にやさしいまちづくりの推進

主なまちづくりの方針

- ・省エネルギー社会の推進や小さなエネルギー生産工場の整備、二酸化炭素を吸収する森林の適正管理等により**ゼロカーボンタウン**に向けて取り組みを進めていきます。
- ・森林や清流、里山、田畑等の**豊かな自然環境の積極的な保全と観光資源等としての活用**を図ります。
- ・可愛川等の**河川の適切な維持管理**に努めます。
- ・**水質浄化や環境美化**に努めるとともに、川魚や貴重な水辺の生物の**生態系の維持**、町民の交流・憩いの場として**水辺空間の活用**を図ります。



第1回

地域説明会 での主な意見

- ・ホテルが飛ぶ川の環境整備

5) 地域のまちづくりの方針

方針4: 景観形成

取組 内容

- ・本町の個性があふれる景観づくり
- ・協働による景観の保護と継承

主なまちづくりの方針

- ・本町を形成する豊かな自然景観を後世に引き継ぐため、適正な維持管理を推進します。また眺望点からの眺望を保全するとともに、これらの眺望点の保全・活用を図ります。
- ・市街地や集落地においては、周辺の自然や緑と調和のとれた美しい田園集落景観の維持と創出に努めます。
- ・人々のくらしが息づく田園風景や伝統文化は、生活や生業、風土に根差した地域固有の重要な景観要素であることから、地域住民の景観保全活動や伝統文化の継承活動を促進し、協働による文化的景観の保護と継承に努めます。



第1回
地域説明会
での主な意見

5) 地域のまちづくりの方針

方針5: 観光まちづくり

取組 内容

- ・観光まちづくりの推進
- ・道の駅を中心とした連携の強化

主なまちづくりの方針

- ・天然記念物に指定されているテングシデ群落や歴史的遺産等の地域資源を活用し、多様な主体の参画による体験活動や修学旅行等の受け入れ基盤の整備に努めます。
- ・各観光施設や産業との連携を強化するため、周遊ネットワークの構築を図ります。また、広域交流の拡大に向けて、地域団体と連携し、本町のサイクルコースを積極的に活用するとともに、継続的に維持・強化を図ります。



第1回 地域説明会 での主な意見

・温浴施設・宿泊施設・加計山などの整備による観光振興を図ってほしい
→民間施設等の整備を本計画に位置づけることはできませんが、周遊ネットワークの構築を進めます。

5) 地域のまちづくりの方針

方針6: 都市防災

取組 内容

- ・災害防止対策の推進
- ・減災への取組の推進

主なまちづくりの方針

- ・ 河川の氾濫を防ぐための護岸整備・浚渫等の治水対策、森林や農地の保全による保水機能の維持に努めるとともに、砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業等の推進により**防災性の強化**を図ります。
- ・ 災害発生時の被害を低減するための取組により、**災害に強いまちづくり**を進めます。また、土砂災害防止法に基づく警戒区域等の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地の抑制等のソフト対策を推進します。
- ・ 消防救急デジタル無線整備やSNS等を幅広く活用した**情報伝達・共有体制の充実**を推進します。また、**避難体制を強化し、総合的な防災体制の構築**に努めます。

